

令和4年度 第二回燕市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和5年3月27日(月) 午後3時50分～午後4時30分

2 開催場所 会議室301

3 出席者の氏名

市 長 鈴木 力

教育委員会

教 育 長 小林 靖 直

教育長職務代理者 中 野 信 男

委 員 秦 久 美 子

委 員 斎 藤 純 郎

委 員 小 林 恵 子

委 員 上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長 太 田 和 行 教育委員会主幹 鈴木 華奈子

学校教育課長 岡 部 清 美 子育て支援課長 白 井 健 次

社会教育課長 廣 田 友 幸 統括指導主事 今 井 泰 輔

5 事務局書記

学校教育課 大 塚 小 由 紀 他 2 名

6 傍聴人 なし

7 意見交換

(1) 次期燕市教育大綱の制定について

次第 別紙のとおり (2 ページ)

意見交換 (概要) 別紙のとおり (3 ページ以降)

令和4年度
第二回燕市総合教育会議
＜次 第＞

令和5年3月27日（月）午後3時50分から
会場：会議室301

1 開 会

2 市長あいさつ

3 意見交換

（検討テーマ）

（1）次期燕市教育大綱の制定について

4 閉 会

1. 開会宣言 午後3時50分

2. 市長挨拶

皆様お疲れ様です。定例教育委員会に引き続き、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ありがとうございます。

前回11月の第一回総合教育会議では、「第2期燕市教育大綱」について、「第3次燕市総合計画」の教育部分をもって代えることとすることにご了解いただいた。総合計画の中身については皆様より意見を頂くことができたので、今回修正を加えたものについて委員の皆様より確認を頂きたい。また、令和5年度新規事業の予算案についても意見交換をお願いしたい。

3. 意見交換

(1) 第2期燕市教育大綱の策定について

岡部学校教育課長が資料説明を行い、その後に意見交換を行った。

○委員（斎藤委員）

前回の会議で指摘した教育立市宣言について適切な文言で加えていただいた。特別支援学校についても加えられており配慮いただいた。読解力の育成、ふるさと教育などの主要政策についても適切に記載されている。施策の達成目標には、平均偏差値50以上と記されているので、成果を表すことが必要になってきている。子育て支援施策についても全天候型遊戯施設の完成によって、「子育てするなら燕市で」という評価をいただけるのではないかと思います。部活動の地域移行を見据えた総合型スポーツクラブの活性化や、大河津分水通水100周年を機にした偉人漫画、声優朗読劇など、芸術文化活動の新たな展開が見えてきて夢がひろがるものである。

○委員（中野委員）

主要施策に健康でたくましい心身をはぐくむ教育の中で、たくましい心ということについて文書から読み取りにくさを感じる。

学校の中で社会に出ると厳しい環境に触れることもある。日本のみならず海外企業からのプレッシャーなども多くなると思う。燕市としては海外との関係を持つ企業も多いので渡り合える力が必要になってくると思う。

○市長

事務局のほうで、健康でたくましい心身への改革案の具体的な案はなにかあるのか。

○統括指導主事

健康でたくましい心身に学校体育やスポーツ活動を通じた体力の向上の面、保健教育の

健康相談活動の充実、食育の推進、家庭や地域との連携をつなげるということで作成したものである。

○市長

自分で答えを見つけたり、失敗を次に生かすこと、子どもの自由な発想に、大人がついつい答えを先に与えてしまうことがある。答えにつながるヒントを教えてあげて正解に導いてあげることが必要だと思う。個人的に思うことから、長善館学習塾等では取り組んでいる。

○委員（秦委員）

学校教育全体がたくましい心身を作る場であると考えている。勉強ができて、社会で成功できるとは限らないと思う。家庭・地域と連携したこの場所で育まれていくものだと思う。たくましい心身とは大人が見守って力を伸ばすことが必要であり、大人たちとの関係性の中で子どもたちの社会性を育む必要性については、この家庭、地域と連携した教育という文言に全て含まれ、集約されているのではないかと。

○委員（中野委員）

このままでは日本はいけないのではという危機感がある。海外と比較して色々な問題が多いので、プラスアルファの言葉が必要なのではないかと。

○委員（秦委員）

総合計画としてどこまで細かく記載すべきかという事については、事務局の考えがどこまで膨らませられるのかというところだと思う。

○委員（斎藤委員）

中野委員と関連する、個別計画である学校教育基本計画において、記載を加えていくことができると思う。総合計画では大河津分水通水100周年を機とした、学校健全育成に取り組んでいくとなっている。

○統括指導主事

記載については学校教育基本計画でより詳細に記載をさせていただいている。

○委員（小林委員）

総合計画として記載する中身については、資料のとおりでよいと思う。

○委員（上田委員）

郷土への誇りについて、中学校などで文化を教える機会がある。燕市で継承される多様な文化について総合計画に細かい記載がないのは仕方がないが、上手く後世に伝えていってほしい。

○市長

つばめっ子かるたやジュニア検定にも燕の文化を記載しており、子どもたちに効果的に伝えることが出来ると考える。

○事務局

令和5年度の教育委員会の予算について、ご意見はあるか。

○委員（斎藤委員）

令和5年度の当初予算について、教育委員からも予算要望をさせていただいた。その要望内容については配慮いただいたと感じる。感謝申し上げたい。

○市長

新分水良寛史料館基本構想策定事業について説明させていただく。この事業については市議会でも多く意見を頂いた。良寛史料館の施設の老朽化についての対応は先送りしてきた部分がある。良寛史料館については個人的に、道の駅の周辺に移すことが効果的であると思っていたが、道の駅の指定管理者を公募で募集したことで集客力が高い施設となり、史料館の移転についても検討するに良い機会となった。さらにそれだけではなく長善館史料館や教育センターなど他施設の在り方をどうするかという議論を合わせて検討する必要もあるため、簡単な話ではないが議論を進めさせていただく。

○事務局

令和5年度は資料にもある当初予算のポイントをもとに各種事業を進めさせていただく。

5. 閉 会 午後4時30分